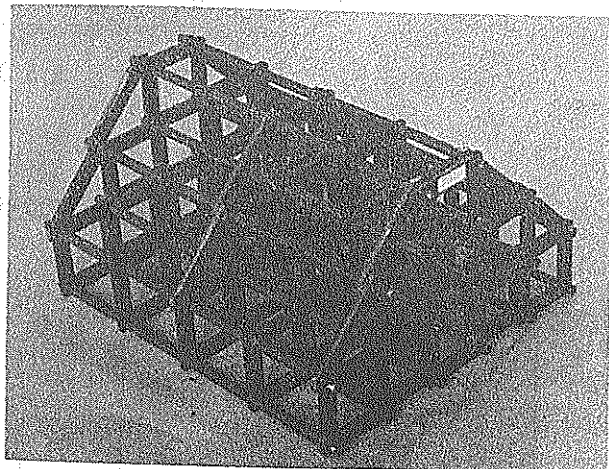
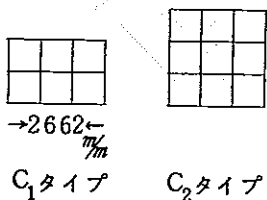
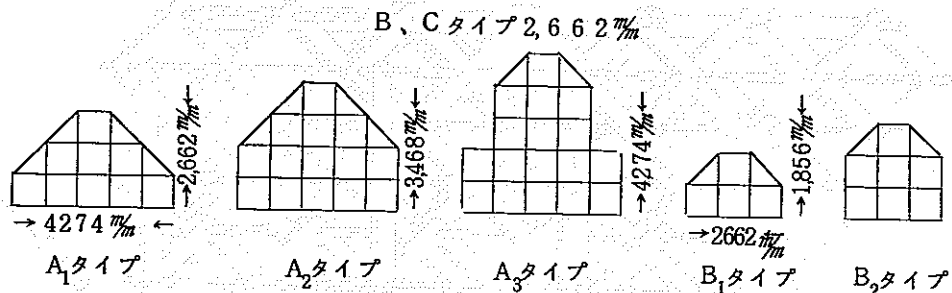


(3) 魚礁のタイプ及び配置、構造について

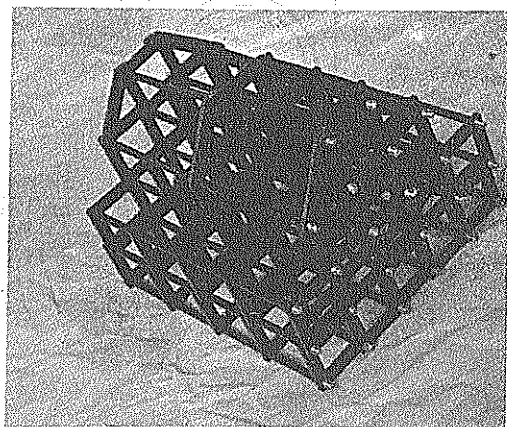
a プラ魚礁のタイプ

魚礁の魚に対する刺激面積、流向流速、水深等を考えて出来るだけ広く、起伏をつくるため一基あたりの大きさ、形状により7タイプに分けた。第10図に各タイプの断面図を示した。写真で各タイプを示す。

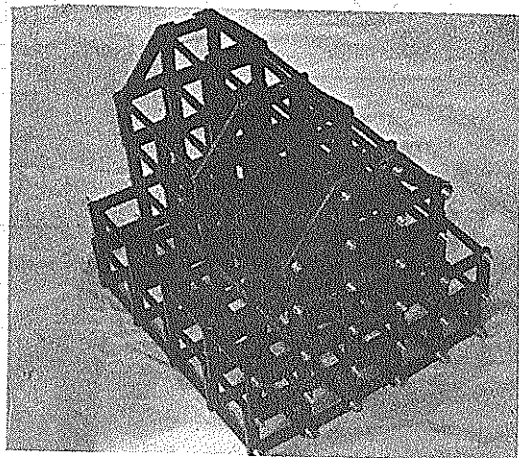
第10図 プラ魚礁タイプ断面図 (巾 Aタイプ4,274mm 長さ ABCタイプ5,500mm)



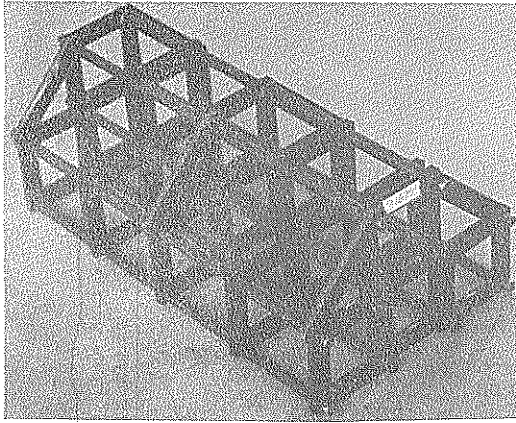
A₁タイプ



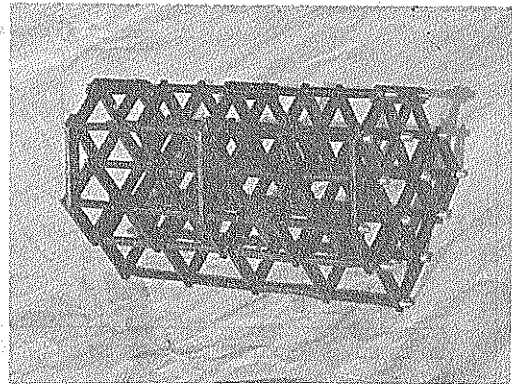
A₂タイプ



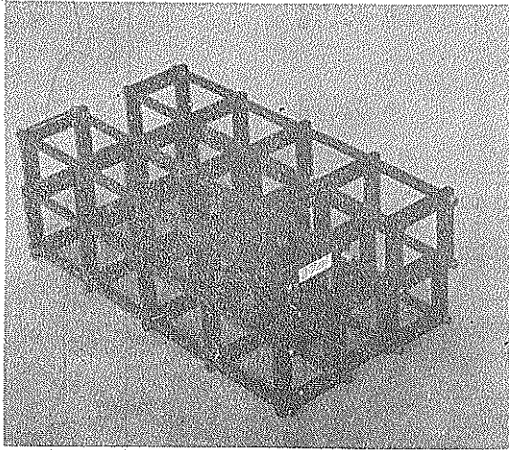
A₃タイプ



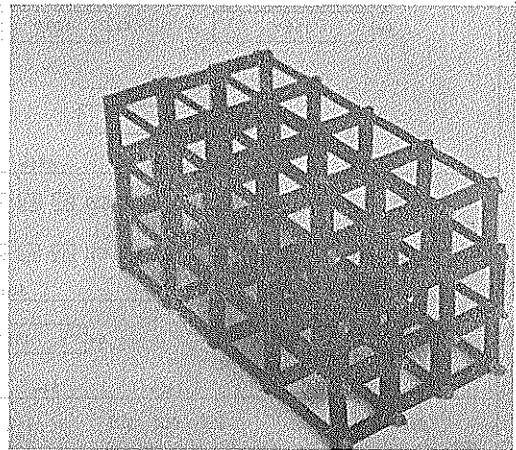
B₁タイプ



B₂タイプ



C₁タイプ

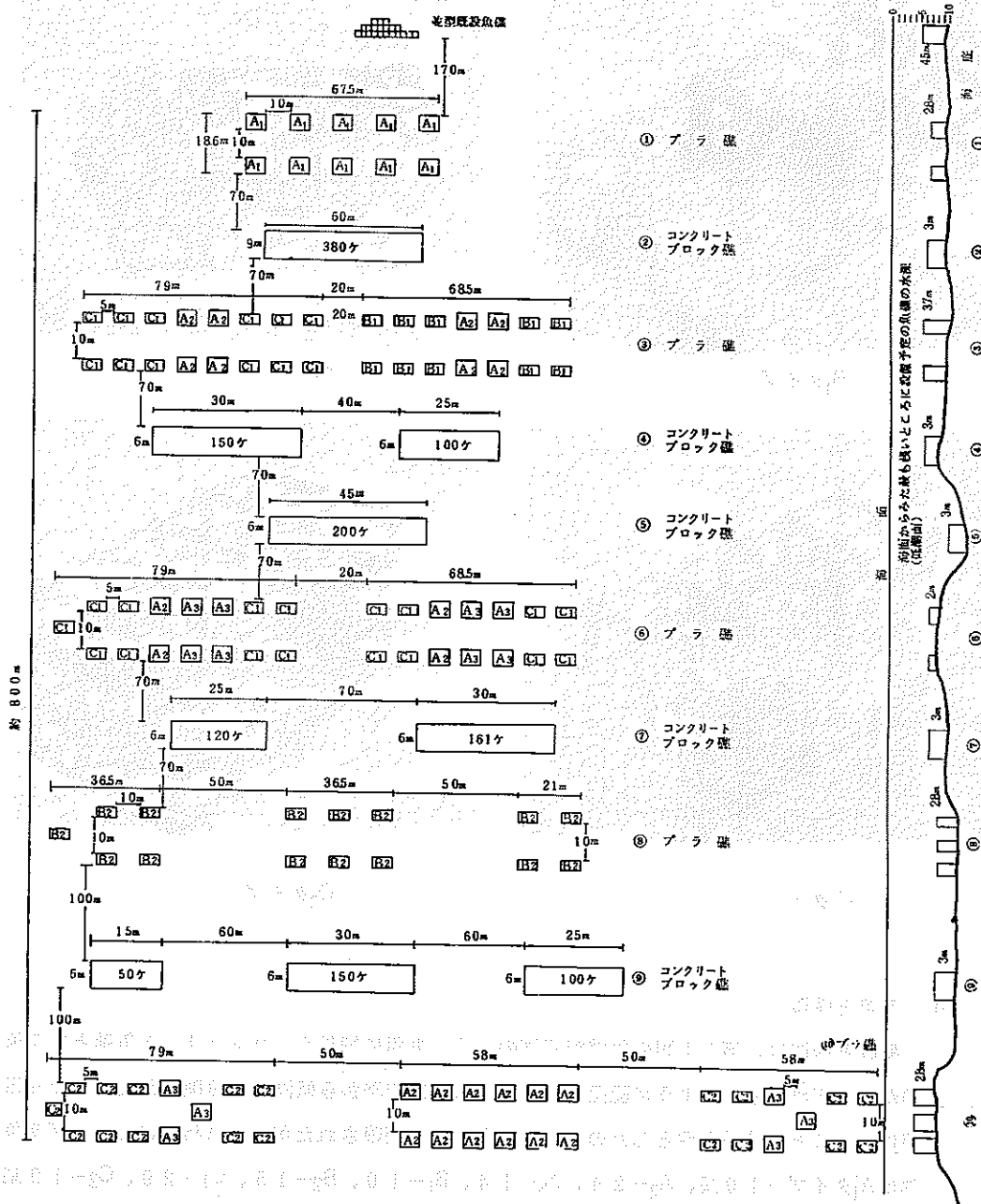


C₂タイプ

b 配置と構造

配置と構造は、第11図の魚礁配置図のように東西に細長く、コンクリート魚礁とプラ魚礁がそれぞれ関連するように配置し、構造は海上保安署から低潮時に魚礁の頂上が7.5 m以深にあることを付帯条件としたので高さはある面で制限されたが群礁は凸状にした。プラ魚礁はA₁タイプ-10基、A₂-24、A₃-14、B₁-10、B₂-15、C₁-29、C₂-19基計7タイプ121基(5,539 m²)をそれぞれ組み合わせた。コンクリート魚礁は1,411(4,762 m²)にした。魚の生態、行動、操業等を考えて単礁間は5~10 mとし、群礁間は20 m~100 mとした。礁はそれぞれ高低をつくり、20群10列に配置した。魚礁の起伏断面略図を第12図に示した。

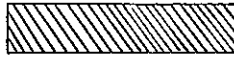
第 11 図 魚礁配置図



第12図 魚礁の起伏断面略図



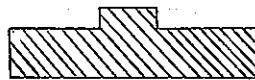
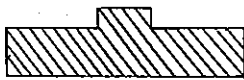
既設並型魚礁



①群 プラ 魚礁



②コンクリート
(大 型)



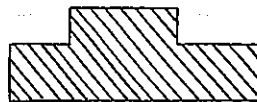
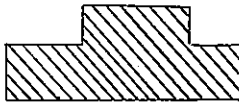
③プ ラ



④コンクリート
(大 型)



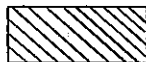
⑤コンクリート
(大 型)



⑥プ ラ



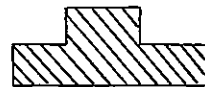
⑦コンクリート
(大 型)



⑧プ ラ



⑨コンクリート
(大 型)



⑩プ ラ